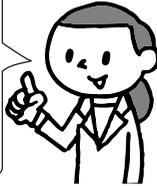


わが家から始めよう! 新型インフルエンザ対策

◆知っておこう! 新型インフルエンザ

- ◆国民の大半が免疫(抵抗力)を持っていないと考えられるため、季節性のインフルエンザよりもっと多くの人が発病すると考えられています
- ◆現時点では、大半の発病者は重症にならないと報告されています。ただし、妊婦や持病を持っている人などが感染すると重症化する恐れがあるため、油断は禁物です

予防の基本は手洗いとうがいで、正しい予防法を身に付けて、感染拡大を防ぎましょう



◆みんなで心掛けよう! 日ごろの感染予防策

「かからない」「うつさない」ために、次のことを心掛けることで、感染の拡大を防ぐことができます。一人ひとりが暮らしの中で意識して実践しましょう。

「かからない」ために心掛けること	「うつさない」ために心掛けること
<ul style="list-style-type: none"> ◆こまめな手洗いを心掛ける ◆清潔でない手で、鼻や口など顔に触れないようにする ◆普段から「咳エチケット」を心掛ける ◆睡眠、休養、栄養など規則正しい生活やバランスの取れた食生活に心掛けて、抵抗力を維持する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「インフルエンザかな?」と思ったら、人に会うことを控えて、早めに医療機関を受診する ◆医療機関を受診するときは、事前に連絡をして、必ずマスクを着用する ◆熱が下がってから2日目までは、外出を控える ◆マスクの着用と手洗いには十分心掛ける

こまめな手洗い



石けんを十分泡立て、手のひら、甲など、手首までまんべんなく洗ってください

咳エチケット マスクをしてね



発熱や咳症状のある人は、他人にうつさないため、必ずマスクを着用しましょう

うがい



のどの奥まで水やうがい薬がまわるように15秒程度何回か繰り返してください

咳エチケット マスクがないときは



ティッシュなどで口と鼻を押さえて、ほかの人から顔をそむけ、できれば2メートル以上、離れましょう

【保健予防課 258-2321】

申請期限は10月13日です 定額給付金と子育て応援特別手当

- ◆定額給付金と子育て応援特別手当(20年度版)の申請は平成21年10月13日(火)までです
- ◆まだ申請をしていない人は、早めに申請をしてください
- ◆期限までに申請がないときは受給を辞退したものとみなされます。ご注意ください
- 【定額給付金窓口 216-1186(FAX216-1207)、子育て応援特別手当窓口 216-1427(FAX216-1284)】

DV被害者給付金・DV被害者子育て応援手当

- ◆DV(配偶者などからの暴力)被害により住民登録と実際の住所が異なり、定額給付金や子育て応援特別手当を受給できないときは、個別に相談に応じます
- ◆申請期限 10月30日(金)
- 【男女共同参画推進課 813-0852、女性相談室 216-1263】

注意 申請期限を悪用した振り込め詐欺

- ◆定額給付金などの制度を悪用した振り込め詐欺にご注意ください
- ◆「申請期限が迫っています。すぐに手続きをする必要があります」、「申請期限が過ぎても申請できます」などと言ってATM(現金自動預払機)に誘導したり、手続き代行手数料を要求することは決してありません
- ◆このような電話がかかってきたら、市消費生活センター252-1919か警察総合相談電話254-9110へ

使用期間は10月末まで 鹿児島市とくとお買物券

- ◆市内の商工8団体が共同で販売した「鹿児島市とくとお買物券」の使用期限は10月31日(土)です
- ◆使用できる取扱店など詳しくは鹿児島市プレミアム付お買物券発行事業実行委員会(鹿児島商工会議所内)805-3117へ



◆妊婦さんや持病がある人は早期の受診を

- ◆周囲の人は妊婦や持病がある人へ「うつさない」ための配慮に十分心掛けましょう
- ◆妊婦や持病がある人は、特に「早期受診、早期治療」が大切です。「家族がかかったとき」や「自分がかかったとき」の対応を、事前にかかりつけのお医者さんに相談しておきましょう

新型インフルエンザ相談センター電話相談窓口 (平日の8時30分~17時15分)

- 保健所 ☎258-2321(内線121) (FAX258-2392)
- 中央保健センター ☎258-2321(内線351)
- 北部保健センター ☎244-5693 (FAX244-5698)
- 東部保健センター ☎216-1311 (FAX216-1308)
- 西部保健センター ☎252-8522 (FAX252-8541)
- 南部保健センター ☎268-2315 (FAX268-2928)



みんなで考えよう! 鹿児島の新しい魅力づくり

“美味のまち鹿児島”シンポジウム開催

本市は鹿児島の「食」をテーマに新たな魅力づくりを官民一体となって進めます。そのキックオフのイベントとして「美味のまち鹿児島」シンポジウムを開催します。

◆第一部 基調講演「食育のすすめ~大切なものを失った日本人~」

講師: 服部幸應氏(服部学園理事長、医学博士)

◆第二部 パネルディスカッション「『食の観光化』による魅力づくり~鹿児島から『食の維新』を~」

コーディネーター: 中村朋美氏(フリーアナウンサー) 服部幸應氏
パネリスト: 佐藤真一氏(「美味のまち鹿児島」づくり協議会企画運営委員会プロデューサー)、寺地貴子氏(鹿児島サンロイヤルホテル「ラテラス」料理長)、長田佳子氏(九州じゃらん編集長)、松尾千歳氏(尚古集成館副館長)、山下真輝氏(九州観光まちづくりアドバイザー会議委員)

◆日時 10月22日(木)18時30分~20時45分

◆場所 かごしま県民交流センター県民ホール ◆参加料 無料

◆定員 500人(超えたら抽選。聴講券の発送をもって発表に代えます)

◆申し込み はがきかファックス、Eメールで住所、氏名、電話番号を10月8日(必着)までに〒892-8677山下町11-1観光企画課「美味のまち鹿児島」シンポジウム 係(FAX216-1320、Eメール info@33call.jp)へ

【サンサンコールかごしま 099-808-3333】



考えてみよう、桜島と共存する暮らし

2009火山砂防フォーラム

火山のある自治体などが共同で、火山地域の振興と噴火対策を考える会議を開催します。改めて活火山桜島と共存する暮らしを考えるよい機会です。ぜひご参加ください。

◆東桜島中学校の生徒の皆さんの研究発表「活火山桜島とわたしたちが考える火山防災」

◆パネルディスカッション「火山地域の振興と火山噴火対策」

◆パネリスト 奈良迫英光氏(県観光プロデューサー)、石原和弘氏(京都大学防災研究所教授)、日高和広氏(南日本新聞社論説委員)、水迫順一氏(垂水市長)、森博幸市長

◆日時 10月29日(木)13時~17時

◆場所 市民文化ホール第2

◆参加料 無料 ◆申し込み 不要

※火山防災関係の行政担当者と関係企業に勤めている人は有料での参加となり、事前の申し込みが必要です。詳しくは安心安全課216-1213へ



受講者募集 市民活動応援講座

◆内容 市民グループの運営の手法など

◆対象 市民活動に興味がある人、NPO法人やボランティア団体などで市民活動を行っている人

◆日時 10月10日、11月7日、12月12日、来年1月16日、2月13日(土)の13時30分~15時30分

◆場所 サンエールかごしま

◆定員 30人(先着順)

◆受講料 無料

◆申し込み はがきかファックスで、住所、氏名、電話番号を開催日の前日(必着)までに〒892-8677山下町11-1市民協働課216-1204(FAX216-1207)へ